

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚原発扁平上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Prognostic factors for local recurrence, metastasis, and survival rates in squamous cell carcinoma of the skin, ear, and lip. Implications for treatment modality selection</b>	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ9-2、WEB-CQ9-2、SCC-CQ10-9、WEB-CQ10-1	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( I )	
	Pubmed ID	1607418	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Acad Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	26	
	号	6	
	ページ	976-90	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1992 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Rowe DE	テキサス大学
	その他著者 1	Carroll RJ	テキサス A and M 大学
	その他著者 2	Day CL, Jr	テキサス大学
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	皮膚原発（皮膚、耳、口唇）扁平上皮癌の局所再発率、転移率、生存率を検討する。
	データソース	記載なし
	研究の選択	除外規準 20 例未満 初回治療と再治療例を混在させて再発・転移率を算出している報告 同一の症例群を用いて別の雑誌に再投稿してる報告 基底細胞癌を区別して扱っていない報告 治療法別の算出をしていない報告
	データ抽出	記載なし
	主な結果	局所再発（経過観察が長くなると高くなった：7.6%→10.5%） electrodesiccation：1.3→3.7% 切除：5.7→8.1% 集学的治療：4.0→7.9% 耳原発例は再発率が高かった：16.1→18.7% 転移（経過観察が長いと転移率も高くなった） 日に当たる部位（2.3%→5.2%） 口唇（7.2%→13.7%） 創部（26.2%→37.9%） 局所再発・転移のリスク 腫瘍径 2 cm 以上、Clark レベル IV～V、低分化、耳や口唇原発、日に当たらない場所の腫瘍、既治療例、周囲神経浸潤、免疫抑制 治療法別局所再発率 手術：8.1%、放射線療法：10%、手術＋放射線療法：7.9% Mohs 手術：3.1% 転移を有する症例の生存率 手術＋放射線療法の成績が良かった
	結論	経過観察が長くなると再発率は高くなる。 再発の危険因子は、腫瘍径 2 cm 以上、Clark レベル IV～V、低分化、耳や口唇原発、日に当たらない場所の腫瘍、既治療例、周囲神経浸潤、免疫抑制。 再発の危険性が高い例や転移例では集学的治療が良いかもしれない。
備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間 直人
	レビューワーコメント	レベル I